

	1班	2班	3班	4班
健康について	<ul style="list-style-type: none"> ・前提としてどこで健康づくりしているか実態調査。 ・休憩しやすいベンチやスペースが多い街並みにしていく。 ・夜に歩きやすい(ウォーキングしやすい)道・コースが増える ・条件整備。スポーツ・競技ではなく区として体操する機会をふやす。規模・施設多く。 ・区民が自分で工夫してる健康づくり(公園とか)は続けさせてあげてほしい。 ・好きなことで楽しく健康づくり ・子どもの運動機会をふやす。スペース、学校、生活上の時間条件 ・元気で長生きのためにやっていることの調査をする。(例:スポーツクラブ、ラジオ体操、ジョギング)実態把握 ・健康づくり指導する担い手を区民の中で増やす。 ・ヘルシーランチの店が増えている ・禁煙に向けたサポート(未病)体制構築 ・分煙の充実 ・がん検診を受ける人が増えている(こわくないよ) ・若者の健診が受けやすい(会社健診利用できない人) ・健診の充実。乳がん健診1年ごとに ・健診結果がわかりやすく伝わる(こわくないよ) ・未病に関する仕組みの整備。健診関連 ・健診、健康指導を職場で受けられる人からこぼれる人を格差ゼロに(自営、退職者、学生、子ども) ・禁煙をすると歳入がどれくらい減るのか(分煙)。DNAで対 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが十分に体を動かしたり走り回ったり夢中になって遊べる環境を充実したい。 ・予防のために健康診断を受けやすいように 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動の習慣、幼少期のスポーツへの教育機会の提供 ・健康寿命のアップのため、社会関係資本の構築は重要 ・高齢化対策⇒健康寿命を延ばし(病院)入院日数を短くする ・若い人に運動してほしい⇒楽しい・オシャレ・面白いがないと動かない 	<ul style="list-style-type: none"> ・区民健診に中野区は500円杉並区は無料というのは改善を! ・病気を予防する様々な情報を発信してほしい ・スポーツ、気持ちよく歩ける場が近くにあるといい。 ・公園に大人が健康維持に使える器具を置いて欲しい(子供が危なくない様)。
医療について	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策。とくに風疹、はしかゼロ。ワクチン・感染情報を出す&集める。 ・かかりつけ医の定着。中野区民は中野区内の診療所 ・区外にかかりつけ医がいても中野区とうまくつながりたい ・オンライン診療の日常化 ・病院と診療所の役割分担の明確化 ・在宅医療の充実 ・在宅医療の負担軽減 ・診療所→病院→高齢者施設のスムーズな流れ 	<ul style="list-style-type: none"> ・寝たきりにならない予防医学の実行、共有 ・高齢者の長期療養ができる施設の有無 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療ケア児の保育園がない ・医療ケア児の一般教育について、中野区内に小学校がない ・医療ケア児がいるとフルタイムで働けない。母親の就労環境が整っていない 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機関は多くなっている ・予防注射など費用やポストメールなどいろいろやってきていて良い! 区民も医療情報などを持ち込める窓口(係)が欲しい
福祉について	<ul style="list-style-type: none"> ・社会問題:ひきこもりの対策は? ・バリアフリーはテッパン。障害者が外出できる街 ・子どもの貧困。区と民間との協力は? ・視覚障害者と映画を見て遊ぶ活動(北区・田端、川崎市)を中野でもやりたい ・せせらぎの充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の中で独立している人、助けが必要なのに助けを求められない人を見つけ出して早く支援をする方法は? ・高齢者の居場所はどこ? ・公助についてはプライバシーにどこまで踏み込んでよいのか ・サポートの方法、介護助成支援のデータを蓄積して公開し、ほかの人の参考とできるように 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の総合相談の窓口、地域包括支援センターの数・スタッフ数・質を上げることが必要ではないか ・小学生、中学生に対しての認知症についての学習必要かも(認知症サポーター養成講座等) ・高齢者の施設(特別養護老人ホーム)少ない ・区の高齢者のサービスが他区より少ない(訪問、オムツサービス等) ・オレンジカフェ(認知症カフェ)は増えている ・障害児の教育 ・障害児の保育 ・障害者に関する一般教育、障害者の社会参加 ・インクルーシブ教育、障害のある子も一緒に過ごす→大人になっても接し方がわかる 	<ul style="list-style-type: none"> ・安心して老後が暮らせるように特養ホームを増やしてほしい。 ・認知症に対する区民の理解はどうしたら上がるのか? ・認知症カフェでとても勉強になりました。 ・障害を持った方に働ける場を100%に ・ハンディがある人々で特に中高年へのフォローを充実 ・介護支援の内容が制約が多く、自由に使えない。手紙を出すなど介護に入っていないと言われた。 ○包括センターについて ・包括センターの人員が足りていなさそう。別エリアに移るときに引継ぎされない ・地域包括、民生委員の数足りない。欠員もある ・高齢者センターや包括支援センターなど似たような施設があるがよく区別して利用できない。まとめる事できないか? ・地域包括ケアのしくみや運営がよくわかっていないです。基礎講座があるとうれしいです。 包括支援センターの対応と配置についてよくよく知られてい
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・どれだけの区民が区報を読んでいるか? ・社会貢献、男女の割合 ・一人暮らしの生活デザイン提案。地域とつながると一人でも楽しいよ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・区の職員を増やし、地域での区民のニーズや状況を日常的に直接把握できるようにしたらよいと思う。 ・地域の様々な活動に多くの人が関わるために行政はどのような支援をするべきか ・思ったよりも子どもと人口は減らない ・公園や緑が充実した空間を大切にしたい ・定年退職された方と若い夫婦(家族)とのつながり ・65才以上の方への就労支援 ・若いうちからの地域活動への参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・中野区の特徴を把握し、必要なニーズをとらえ効果的な施策(サービス)を作っていく必要がある。そのために多くの意見を聴く必要がある。 ○若い人について ・若い人20~30代の相談の窓口はあるのか? ・自分が当事者として困ったことがなければどんなサービスがありサポートが受けられるのか知らない。知ることで将来考えうる事態が予測でき対策もできるかも。 ・中野区は(都庁に近く)新宿に近いので若い世帯が多いと思うが、若い世帯に希望を持てる制度 	<ul style="list-style-type: none"> ○国保について ・国保料を値下げすべき ・国民健康保険が高く、システムもしっかりしていないのではないかとと思われる(振り込みと引き落としが同時にされた) ○住まいについて ・集合住宅支援(見守り活動の) ・空家を地元のコミュニティの場にすべき ・都営、区営の住宅を充実すべき ○その他 ・オレオレ詐欺対応電話の設置が進むように。中野は多い、